

(6月14日) : 市場は上下変動の見込み

今週のベトナム株は狭いレンジで上下することが見込まれる。警戒感が市場に蔓延しており、ETFの再構成とFRB会合からの情報を待っているという状況だ。

ホーチミン取引所のVN指数は0.37%上昇し、953.61ポイントで取引を終えた。

同指数は先週一週間で0.49%ほど下落した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.03%下落し103.46ポイントで取引を終えた。

同指数は先週合計で0.72%下落した。

低い流動性から見て取れるように、買い需要は少なく、先週の1日当たりの平均出来高は1億7160万株であった。

MB証券のNgo Quoc Hung氏によると、先週は下落トレンドが市場に蔓延していた。そのことが、指数の5月初旬以来の4週間ぶり安値への下落を引き起こした。

“VN指数は世界株式市場の上昇トレンドとは反対の動きを見せた。流動性は過去18週で最低の水準であった。”と同氏は語った。

同氏によると、投資家は今週も警戒感が高く、ETFファンドのポートフォリオ見直しについての情報を心待ちにしているとのことである。最もグローバル投資家の関心が高い情報はFRBの金融政策決定会合(6月18、19日)の結果である。

バオベト証券のデイリーレポートによると、低い流動性といくつかの大型株の上昇は、市場が全体として国内の支持材料に欠けているということを示している。

“それゆえに、VN指数は反発する前に、930-940ポイント付近まで下落する可能性がある”とBVSCは予想した。“来週にはETFは2019年第二四半期のポートフォリオ見直しが行われる予定である。そのため、これらのファンドのポートフォリオの指数は予期せず上下する可能性がある。”

銀行セクターは反発する余地が依然としてあると考えられる。しかし同セクターの銘柄は上下の変動を繰り返すと予想される。石油ガス銘柄は反発前に一度下落すると予想されている。

先週、ビンホームズ (VHM) は最も下落した銘柄の一つで 2.5%ほど下落した。調整圧力は大型の食料品関連銘柄にも大きくなり、ビナミルク (VNM) とマッサングループ (MSN) はどちらも 2%以上下落した。

世界的な原油価格の下落がベトナムの石油ガス銘柄にも売り圧力をかけた。多くの銘柄が大きな売り圧力を受けることになった。ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS)、ペトロベトナムドリリング (PVD) とペトロベトナム建設 (PVC) は 3%以上下落した。ペトロベトナムガス (GAS) は 1%弱の値下がりだった。

先週、ブレント原油先物指数は 1.5%ほど下落し、WTI も 2.7%ほど下落した。

多くの銀行株は先週上昇した。最も上昇した銘柄はベトコムバンク (VCB) で 5%以上上昇した。その他の大型株でも、ベトナム投資開発銀行 (BID)、軍隊商業銀行 (MBB)、アジアコマーシャル銀行 (ACB) は上昇して取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。